

第 10 回（仮称）矢吹町複合施設整備検討委員会議事録

平成 29 年 10 月 25 日（水）午後 6 時 00 分～

矢吹町文化センター小ホール

1 開会

2 委員長挨拶

(1) 議事録署名人の選出

〇〇委員、〇〇委員にお願いしたいと思います。

(2) これまでの経過報告

- ・第 9 回検討委員会議事録について
- ・これまでの意見の整理と課題の抽出
(事務局説明)

副 委 員 長：委員長がお出でになるまで、説明を優先させていただきます。

(3) (仮称)矢吹町複合施設キャッチフレーズについて (事務局説明)

副 委 員 長：馴染みにくい方言は、絞り込んだ方が良いかと思います。よい意見はここでプラスして頂きたいですし、内容を変えても良いですが、こうしたらもっと良くなるのではないかというご提案がありましたらお願いします。

委 員：キャッチフレーズと愛称は具体的にどのように表現されるのでしょうか。例えば、パンフレットに記載するのでしょうか、それとも複合施設のどこかに表示されるのか、イメージがわからないので説明頂ければと思います。

事 務 局：キャッチフレーズは基本計画書（資料 4）の表紙にある「～〇〇～」のところに入る予定です。愛称については計画の中には入ってきません。キャッチフレーズまでというイメージです。

副 委 員 長：確定せずに、委員会として提案するというので、今後公募するということか。

事務局：愛称については、公募、ネーミングライツ等で決定していきたいと思っています。基本計画の中では、愛称までは含まれていません。今回決定しようとしているのは、基本計画のキャッチフレーズまでです。施設が完成しましたらパンフレットにどういう目的を持った施設かということで、キャッチフレーズを載せるようになると思います。愛称につきましては、駅東口にある屋内外運動施設の愛称が「未来くるやぶき」となっている様に、親しまれる愛称ということで、ネーミングライツ等で募集をかけるか検討する内容になってくると思いますので宜しくお願いします。

副委員長：建物を建設するときに、可能な限りみんなで集えるような案を出したいということで、キャッチフレーズで良い案が出ていたと思うのですが。

委員：意味は分かりました。

事務局：前回会議事録7ページに掲載されています。雄勝町のキャッチフレーズだと思われます

副委員長：他の施設で使われた誰もが納得するキャッチフレーズ。「未来の夢の宝箱」が委員長から出たタイトルで、「未来の夢の宝箱」というイメージで作り上げていこうという地域がありました。矢吹町もキャッチフレーズで建物を造りあげてはどうでしょうかという提案です。今回、事務局から2つの案が出されましたが、委員の方から出して頂いたキャッチフレーズを絞って、より良い複合施設建設の為にキャッチフレーズをつくっていきなりましたので、発言頂けたらと思います。

委員：キャッチフレーズは、複合施設の目的を十分議論してきましたので、その中のキーワードをどう組み合わせていくのか、子供・お年寄り・未来・学び・憩いを上手く組み合わせられたら良いのではないのでしょうか。

副委員長：子供・お年寄り・未来・学び・憩いとキャッチフレーズのキーワードが出ましたが他の方のご意見も伺いたいと思います。

委員：学ぶ、遊ぼう、集まろうなど。

副委員長：「プロジェクト雄勝・未来の夢の宝箱」は途中で一度切れています。これ

は、話しやすい、記載しやすい、わかりやすいという感じです。

委員：事務局から求められても適当な案は出せませんでした。一般的にキャッチフレーズを作るにあたって、言おうとする子供・お年寄りなどの言葉をそのまま出すと文が長くなってしまいますので、その方々も含めた別な形容詞を1つ作って補足的にすると良いのでは。例えば一つのキャッチフレーズが出来あがったら、「未来とは」ということに対して、それは子供を指したり、若者を指したり。どういう未来にすべきなのかという事を補足的に説明したりする部分作ったりします。そうしないと、キャッチフレーズをある程度の語呂でまとめきれなくなってしまう。子供・お年寄り・学び・憩いを外したくないとなると長くなってしまいますので、俳句と同じように何かの言葉を使って、子供とか若者とか、お年寄りところまでまとめてしまうというのも1つの手かと思います。タイトルを短く、と言うのはいい提案だと思います。

委員：世代を超えて！などの言葉で表せたら良いですね。

委員：「みんな」であればすべてを指しますよね。

副委員長：確かに「みんな」は子供からお年寄りまで入りますね。キーワード、「みんな」「憩い」「学び」「未来」

委員：もっと簡単なのは、「町民」だけど、町民にまで絞り込んで良いのか。

副委員長：皆さんから頂いた提案でピックアップ出来ればと思います。ありますか。

委員：15文字でまとめてみました。「みんなが、集いと学べる未来の施設」
「みんなが、憩いと学べる未来の施設」どうでしょう。

委員：「来らっし」は不評なのでしょうか。

委員：「によきによきやぶき」はキャッチフレーズと言うよりは、愛称の方が良いのかもしれないですね。「ほっこりやぶき」とかいくつかのパターンが出ていますが、「によきによきやぶき」のあとにある「こころとひとが育つ場所」とか、「つながり」などみえる方が良いのかと思います。「みんなが集いと学べる未来の施設」ですと「未来の施設」だとコンピュー

ターが並んでいるのを連想させてしまうイメージになってしまうのでは。むしろ「集い学べるみんなの施設」ですと繋がりが出来て良いのかと思います。

「集って学べるみんなの施設」ですとか。

「によきによきやぶき」「キララやぶき」「来らっしやぶき」は愛称としてはそちらの方が素敵な物があると思います。そこに少し付け加えるようになるのかと思います。「来らっしやぶき〇〇」など。

副委員長：一つの案として、皆さんが出して頂いたキャッチフレーズを基に、東北の方言を最初に入れ、その後「集い学べるみんなの施設」が良いのでは。

委員：最後の「施設」という言葉が硬い気がするのですが。「玉手箱」のような明るい建物をイメージするような表現はどうでしょう。

委員：「ほっこり」をつかった「ほっこり館」とか。

委員：「によきによきやぶき」などは覚えやすく、愛称になりやすく良いと思います。それに「集いと学びの」という言葉が入れて「集いと学びのによきによきやぶき」なども良いと思います。

副委員長：最初の部分は「来らっしやぶき」でいきますか。その後の「集い学べる」までは良いでしょうか。で、その後に「ほっこりやぶき」や「によきによきやぶき」などのような、流れがよろしいと言う事でよろしいでしょうか。

委員：「みんな」という言葉は外せないのではないのでしょうか。
「集い学べるみんなの〇〇」というように「みんな」を最後に入れてはどうですか。「みんなの館」とか。

副委員長：頭が固まるとそのあとは何かついてくるように感じますが。
「来らっしやぶき」を頭に持ってきて、次に「集い学べる」の後に何かをいれてみてはどうかということ。

委員：「ほっこり」「によきによき」のイメージがわかりませんが、これは方言でしょうか。

委員：広く考えれば、エリア、地域、地区など広げると良い案が出てくるのかと

思います。

副委員長：エリアなどは1つの建物に限定しなくても、場所として良いかもしれません。「集い、学べるみんなの学園」、未来、夢。我々の夢は。

委員：「によきによきやぶき」は好きだと思いました。例えば、最初は「によきによき」にするとして「絆で育てるほっこり村」とか。複合的な言葉で「村」と言うつながりはどうでしょう。機能が複合的にあるということを村で表現。別な言葉ですみません。「によきによきやぶき」が愛称で「絆で育てるほっこり村」

委員：「街」の方がいいのでは。「町」ではなく「街」

副委員長：一生懸命、皆さんで出し合ってくれているので、このキャッチフレーズにはこだわっていただいて、時間がかかっても決めるようにしましょう。

委員：「村」というのが良いのか「街」というのが良いのか「エリア」が良いのか。複合施設を表すには「村」良いかと思いました。「世代をこえて」とか「みんな」など、人が繋がってと言う部分では、「絆」という言葉で表せるのかと思いました。で、「絆が育てる」「絆で育てる〇〇村」と考えました。

副委員長：今までをまとめてみます。(ホワイトボードに列記)

「みんなが集うみんなの施設」⇒施設の表現が硬い。「みんなが集うみんなの地域」「みんなが集うみんなの地区」「みんなが集うみんなのコミュニティ」

「みんなが集う未来の施設」⇒「みんなが集う未来の地域」「みんなが集う未来の地区」「みんなが集う未来のコミュニティ」

「集いと学びのみんなの〇〇」

「こころとひとがそだつばしょ」

「来らっし!やぶき」「キラッシ矢吹」

「によきによきやぶき」

「絆で育てる」「〇〇村」「〇〇むら」

こちらが、皆さんが絞りこんだものです。「施設」が硬い。「村」をどうするか進行中の問題で、「施設」は「地域」「地区」「コミュニティ」などに。

委員：上の句の愛称は公募するんですよね。

副委員長：施設名は公募？上の句は公募になるんですか？

委員：愛称は公募ですよね。

委員：上の句は愛称ではないんですか。

委員：育てる〇〇とかではなく、「きらっし」に居るよとか簡単に言える、わかるような表現がいいと思います。「公民館に居る」と同じ感じで「きらっし」に居るよという事を出していければ。

副委員長：公募して決定するまでの間、検討委員会では愛称を含めたキャッチフレーズで行って来ましたということで、これに拘束することなく、応募する方は応募してくださいということで進めていいですかね。

委員：最初の呼び方が欲しい。

副委員長：真ん中、柔らかいですがどうでしょう。ひらがながすごく良かったので。そのあとの施設のところをどうするか。ある程度、絞り込みましょう。

2・3つに絞り込んで。

このあと方向性を決めるときに、皆さんに持ち帰って頂いて、のちに確定をし、印刷をする。と言う流れにしましょう。今日決めるとしても、自分の思いもあると思いますので。皆さんの考えを聞いてしまうとなかなか進まないと思いますので。このような方向で良いでしょうか。キャッチフレーズに関してはこの位でよろしいでしょうか。お勧めしたいキャッチフレーズがありましたら、事務局に次回までに出して頂いて、そこで再度、精査すると言う事でよろしくお願い致します。

～議長交代～

(4) (仮称) 矢吹町複合施設 施設計画 (案) について

委員：多目的ホールの課題で控室として利用できる部屋が隣接していないと言う事で、例えば町民交流ホールを可動式のパーテーションのような物で仕切ると、控室になると思うので、交流ホールの使い勝手が良くなるのではと思います。

設計事務所：ありがとうございます。前向きに検討していきたいと思います。

委員 長：課題を設計者も理解しているという事で、解決した案が次に出てくることを期待して良いと思います。

委員：和室が2つになって、区切りになっていますが、前回まで上と下にわかれています。上の和室をどう使うか心配していましたが、今回一緒になったので効率的になっていいです。ことぶき大学の活動の場が無かったので、今度は、茶会を行う事になっておりますので、床の間が欲しいので1間でなくても、半間で良いので床の間と畳が平らな所と物入れを作って頂きたい。公民館の和室にもあるようなものを作って頂き、整理が出来たらと思います。

委員 長：和室が融通良く使えるのは、押し入れがあるからだと思います。それも課題として設計者の方も認識して頂けると思いますので。

委員：囲碁の石などを収納するスペースがあったらと思います。

委員 長：全般的に多目的に使う提案ですので、皆さんからのご意見がでたように、片付けられる事が大事です。活動スペースとそれを支える収納スペースをセットで考えて頂けたらと思います。

委員：畳の下の収納と言う考え方はありますか。

設計事務所：出来ない事はないと思いますが、設計の床の高さを高い位置にするとか、逆に掘り込んで作るなどすれば可能ですが、かがんで収納するなどは避けたいと考えているので、なるべく平場に収納を作りたいと思います。

委員 長：大きなゾーニングに関して説明がありましたが、子育て支援に関して、子供の利用の視点として、岡村委員いかがですか

委員：有効にスペースを作って頂いたと思っています。子育て支援のスペースとしてはテラスがあって素敵な場所にあると思いますが、玄関入ってすぐ調理室があると言うのはイメージがわからないのですが。相談スペースはプライバシーが守られると言う事では必要ですが、普段はガラス張りで結構ですが必要な時にカーテンで見えないように出来れば良いと思います。図

書館スペースの吹抜けですが、空間が繋がっていると音が聞こえますので、ガラスを入れるか何か工夫が必要かと思います。明かり取りのスペースであればガラスは入っても良いのかもしれませんが。

委員 長：設計の課題だと思いますが、調理室を入口の隣の置いている意図は。

設計事務所：調理室はガラス張りで開放出来るように考えております。入口の脇にあることでさらに賑わいが作り出せるようにと。それを踏まえ積極的に配置させて頂きました。

委員：イベントがあるときにここで水が使えると言うのは良い事で素敵な場所になると良いなと思います。あと、1階図書スペースからダムウェーターを使って本を上げたり下げたりするとの事だと思うのですが、そんなに沢山は積めませんので、作業室隣の階段を利用して、職員の方々が担いだりするのかなと思います。エレベーターで運びあげるとなると反対側まで運ばなくてはならないということで、エレベーターを2台にすることはもったいないのでしょうか。

設計事務所：イニシャルコストもありますが、ランニングコストも差が出てしまいます。重い荷物を上げ下ろしする際はホールのエレベーターを利用して対応して頂ければと思います。車庫での入れ替えや日常の本の搬入はダムウェーターで対応出来るかと思います。引越しの時は併用で使って頂けたらと思います。

委員 長：ダムウェーターという表現は最近使っていない。リフトですね。基本、上と下の両方に人がいないと使えないので、管理の方の活動がスムーズにいか、全体を考え直すひとつの手がかり、テーマとして各委員のご意見を聞いて頂けたらと思います。調理室はイメージが共有できるように、次回示して頂けると良いと思います。吹抜けの問題は設計者の方からこの段階でありますでしょうか。

設計事務所：2階吹抜けにいたしましては、ガラスでカバーして、そのうえのトップライトに繋がることにしています。

委員 長：何の為の吹抜けなのでしょう。

設計事務所：1階に光を落とす為の吹抜けです。

委員 長：吹抜けであれば、吹抜けらしい寸法があるのでは。空間の魅力を作るうえでも、有効なので、自然光を入れる工夫をするという事で良いでしょうか。図書館について前回と大きく変わっている所がありますが、佐藤委員いかがですか。

委員：図書館が変わって良かった所はワンフロアになった所。入り口が1つになった所です。本を買うために本屋さんに本を見せて頂きます。それを、今までは談話室で見せてもらって必要な物を購入したり、参考資料にしたりする作業があったり、長期の整理期間中には直接本を購入して運びますが、そういう際にはやはりエレベーターを使うしかないと思います。移動図書館（BM）を含め持ち運びが気になります。

委員 長：細かい配置はこれからで、今は大きな配置で管理・運営・利用の観点でご意見頂けたらと思います。

委員：資料にある外観イメージと平面図を合わせたときの東側の屋台蔵と町民交流ホールの高さ的なもののイメージが沸かない。屋台蔵は東側に無ければならないとの事で、検討委員会でもとまってこの位置になっています。ここに置きながら、東側の奥州街道からみて、ここには屋台蔵がありますが、複合施設もありますよ、全体は複合施設だと言う見せ方をどう工夫して頂けるかが重要でないでしょうか。南の方から、東京の方から来た時に左側に複合施設がある事がわかるように。そういう意味でも説明して頂けますでしょうか。

設計事務所：屋台蔵と町民交流ホールにつきましては、天井高が必要な所です。屋根が複雑にならないよう最適な位置で設計しております。町民交流ホールにつきましては、陸屋根の形としておりますが、検討の余地があるかと思えます。奥州街道を東京方面から来た際の見せ場は、軒下通路の軒先をそろえることにより建物の綺麗さをアピールしております。

委員 長：大きな配置構成の議論で固めて行くのと同時に共有できるように用意をお願い致します。

委員：2800㎡の床面積で消防法上何か、縛りは出てくるのでしょうか。建物の中

に消火栓が必要とかでてくるのでしょうか。

設計事務所：消防法の縛りが出てきます。特に構造につきましては非常に難しい。木造で作りますと 1,000 m²ごとに区画を入れないといけない。その区画は鉄筋コンクリート造りで自立することになるので、現在イメージ図で書かせていただいているのですが、何かしらの区画が出てきますので、若干変わることも考えられます。コスト、木造に対する補助なども考慮しながら最適な構造で、町民の方々に喜んで迎えられるように次の段階でもっと詰めていかなくてはならないと思っています。

委員長：案が固まってから区画の仕方を考えることではうまくいかないのでは条件を踏まえながら検討して頂きたいと思います。

委員：出来てからどう使われるのか、全体的に見たらいいなと思う部分はありますが、各サークルを案内するような物を置く所が多目的ホールの資料展示のところなのかなあとか、フロンティアボックスで利用するのかなと色々な事が考えられていいなと思います。和室、多目的室に収納スペースが必要になってくるのではないかと考えました。コインロッカーも必要かなど。出来てからどう使うかと言う部分になってしまうのですが。

委員長：そう言う意見もきちんと報告書に書き込んでいくことも大事だと思いますので。

委員：総合的におおむね、良い方向に進んでいて、素晴らしいかと思います。道路関係で今後、町道についても拡幅するということが出てきますので、道路と建物の間を機能的に利用出来るか、みんなの広場などはオープンカフェとしても可能なか。軒先を含めた東西の長い線は別な利用方法も楽しいかと思います。

委員：外回りのアプローチとかを見ていたのですが、前回から比べて良くなっているなと思います。中の細かい所にはまだまだ精査するところがあるのかと思いますが、右上のパスで軒下通路を経由して道路も通行止めして使うということも面白いと思います。信金さんが休みの時には十分使えるのかと思います。後ろの住宅の方と上手く共有して面白いイベントなどが出来るのかと思います。

委員 長：気になる所がありましたらメモで事務局にでもお寄せ頂けたらと思いますので宜しくお願い致します。配置についてはだんだん見えてきていると思います。次の段階として、今日も意見が出されましたが収納や使い勝手はもう少し大きな絵でその部屋の使い方などについて検討していく課題が出てくると思いますので、意見の集約の仕方、意見が集められるような資料の用意の仕方を設計グループにはお願いしたいと思いますので宜しくお願い致します。

(5) (仮称) 矢吹町複合施設基本計画 (案) について

委員 長：委員会の報告書としてまとめていきたいと思います。
資料4にあります、本日は簡単で結構ですので説明してください

(事務局説明)

委員 長：このようなボリュームで委員会としてまとめていきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

4 その他

次回の日程について・・・12月8日(金)午後6時～。矢吹町文化センター小ホール

5 閉会